

委 員 会 報 告

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会

総務常任委員会、閉会中の所管事務調査を実施しました。また、各委員会では3月定例会で付託になった議案・陳情について審査を行いました。

総務常任委員会（吉村幸治委員長）

☆所管事務調査

（調査事項）

・曾於市の入札契約事務

（内容）

平成20年4月から条件付一般競争入札を本格的に実施し、入札参加条件の一つとなる建設工事評点を新たに設け、これまでの工種別のランク格付けを原則廃止している。評点は本人のみの通知で公表はしていない。

評点の見直しは、前年の工事成績などを参考にしているが、評点方法等の見直しについて、要望もあるので加味しながら、市の方針や目的及び市内業者の現状を踏まえて見直しを行いたい。

評点の見直しは、平成22年4月1日を基準日として行い、6月頃までには、業者に通知する予定とのことであった。

☆平成21年度曾於市一般会計予算の補正（所管分）

（所管分）

問 通信運搬費（郵便料）の増はどうしてか。

答 以前は税金の納付書は自治会を通じて各個人に配布していたが、郵便関係の法律で、税金の納付書や健康診断の関係など、個人の名前や住所が出てくるものについては、すべて郵便で出さなければいけないようになってきたためである。

意見 財政についても、ますます厳しくなることが考えられるので、税収をよく分析して、中・長期にわたるしつかりした財政計画を作るように。

☆平成22年度曾於市一般会計予算（所管分）

問 職員研修の在り方は。

答 研修の必要性は感じている。昨年は新採職員の研修をクリーンセンターで実態を知ってもらいう意味から行った。

問 新しい財政計画の策定時期は。

答 平成22年度中には作らなければいけないと思っているが、いろいろ検討会等を重ねて、できるだけ早い段階で作るよう努力したいと考えている。

問 今後の税収の見直しは。

答 市税だけでなく、いろいろな手数料なども含め、全体的に収納は確実に減っている。

問 今後の見直しは、はっきりと見極めができないところであるが、今の状態であれば、横ばいか悪くなる方ではないかと思っている。

問 運転免許証の自主返納者に対する支援の考え方は。

答 現在、免許証を返納している人が警察の登録で47名おり、その人達に思いやりバス等に無料（3年間）で乗車できるパスポートのようなものを交付したいと考えている。

問 新しい財政計画の策定時期は。

答 平成22年度中には作らなければいけないと思っているが、いろいろ検討会等を重ねて、できるだけ早い段階で作るよう努力したいと考えている。

問 今後の税収の見直しは。

答 市税だけでなく、いろいろな手数料なども含め、全体的に収納は確実に減っている。

問 償却資産の対象は。

答 基本的に償却資産は、事業に使う器具、建

物、工具等が対象になる。リースは、資産が賃貸借である場合は、リース会社が支払うようになってくるが、資産の所有が自分のものになれば、リースで契約しても、本人のものということ、償却資産の個人の対象になる。

意見

・国の交付金があるというところで、財政計画、総合振興計画、過疎計画にない事業を新規事業として実施されるものがたくさんあるので、整合性をもった各事業計画を早急に作るべきである。

・弥五郎伝説の里は、今後どのようにしていくか、検討委員会でももう少し具体的な活用方法を打ち出すべきである。

・定住促進を図るということは、子どものこと、住環境整備、産業などすべてをトータルしたものである。「よいまち、曾於市」をどうしたらつくれるのか、真剣に討議すべきである。



財部温泉健康センター

☆指定管理者の指定
（曾於市立図書館）

問 図書館の指定管理に至るまでの協議過程は。

答 行政改革推進本部の方針に基づき、指定管理に至った。

☆指定管理者の指定
（財部温泉健康センター）

問 指定管理料の採点方法、評価方式を明確にすべきでは。

答 評価のやり方を今後検討していく。

☆発議

曾於市長寿祝金支給条例の一部を改正する条例の制定

曾於市内の75歳以上の全員に長寿祝金を支給するものであり、次のような意見がありました。

金額を定めてない改正案では不十分。75歳以上では対象者が多くなる。節目支給が定着している住民に不利益が被らないようにすべき等の意見が出た。

☆平成21年度曾於市
一般会計補正（所管分）

問 学校給食共同調理場燃料費445万円の減額の理由は。

答 当初の単価を高く見積もっており、入札による執行残である。

☆平成21年度曾於市介護
保険特別会計の補正

問 家族介護で慰労事業20万円の減額は。

答 要介護4～5に認定され、介護保険サービスを1年間受けず、かつ1か月以上入院をしなかった要介護者と同居して介護している非課税世帯のものに支給される。

☆平成22年度曾於市
一般会計予算（所管分）

問 火葬炉改修工事の身は（1億3千万円）。

答 当施設は築21年経過し、老朽化が進んでいる。本年度は2つの炉の改修を行い4つの炉で運営していく。

問 長寿祝金の8015万円はあまりにも多額な予算ではないか。

答 市長のマニフェストに基づき、不利益を被る方々への調整額を上乗せしたため、高額となった。

意見 8千万円の長寿祝金は、曾於市の財政状況からみて、厳しいことから、現行の規則を見直し、前年度並みの予算の範囲内で執行すべきであるとの意見が出された。

☆平成22年度国民健康
保健特別会計予算

問 一般会計からの繰入金8871万円と国保税の引き上げを住民にどう理解させるか。

答 国保会計の財政状況を詳しく国保だよりに掲載した。

☆平成22年度曾於市後期
高齢者医療特別会計予算

問 政権交代による後期高齢者医療制度はどうなるのか。

答 平成23、24年度を準備期間として、平成25年度から新しい保険制度でスタートする。

☆平成22年度曾於市
介護保険特別会計予算

問 市の施設介護の受け皿はどういう状況か。

答 施設入所待ちが110名ほどいる。今後計画的に施設整備を図っていく。

☆平成22年度生活排水
処理事業特別会計予算

問 財部地区の合併浄化槽使用料（過年度分）9万2千円は。

答 平成19年、20年度の10名分であり、戸別訪問や請求を再度行うなど努力している。



曾於市斎苑

☆曾於市悠久の駅舎の設置及び管理に関する条例の制定

☆市有住宅、市営住宅、地域振興住宅条例の一部改正

☆平成22年度曾於市一般会計（所管分）

問 駅舎の名称を「曾於市悠久の駅舎」とした理由は。

答 地元から9名の応募があり、大川原、悠久清流、緑などの言葉をあてたものがあり、自然豊かな悠久の森に来る人が降り立つ駅というのをイメージして名付けた。

問 管理戸数はそれぞれどうなっているか。

答 市営住宅1033戸、市有住宅107戸、地域振興住宅21戸、計1151戸である。

問 入居状況は。

答 市営住宅916戸、市有住宅98戸、地域振興住宅10戸、計1024戸。

問 ふるさと雇用再生特別基金事業費補助金による事業の内容と委託先は。

答 市の観光資源開発、観光のPR、特産品の販路拡大を行う。新たに観光資源の開発、新規の雇用対策として委託先は、「道の駅すえよし」の一角に事務所（センター）等を設け、観光メニューの研究、グリーンツーリズム等取り組み、資源の再認識と観光メニューの開発を考えている。

問 畜産物加工施設整備事業の内容は。

答 鹿児島くみあいチキンフーズ株式会社が、大隅工場を拠点処理施設として、国の強い農業づくり交付金事業を活用して整備する事業である。

内容は、大隅・鹿屋の処理場を集約し、最新鋭の設備による処理コストの低減を図り、処理羽数を現行より13・5%多い、1日5万7200羽の処理

理羽数を見込んでいる。

問 北部畑かん事業のファームポンドのそれぞれの面積は、県営の事業はいつまでの計画か。

答 ファームポンドは5つあり、それぞれの面積は第1は144ha、第2は167ha、第3は627ha、第4は560ha、第5は454ha。今の計画では、平成32年度までに県営事業は終わる計画である。

☆平成22年度曾於市公共下水道事業特別会計予算

問 加入率を上げる努力を。

答 平成21年度は推進委員を月5回の半年お願いしたので増えてくるのではと思っている。

☆平成22年度曾於市水道事業特別会計予算

問 主な事業内容は。

答 末吉上水道、大隅上水道、財部水道、末吉簡易水道について、それぞれの工事を実施する計画である。



悠久の駅舎 落成式



湯の尻団地（末吉町）